

全米販では、組合員が取引先と価格交渉する際の参考資料として、次の文書を作成・配付しました。併せて、量販店・外食等の関係団体に説明するほか、プレスにも公表しています。

平成20年11月

お取引様 各位

全国米穀販売事業共済協同組合

米穀卸売業の現況について

弊組合は、米穀卸売業者200社近くを組合員とする全国団体であります。平素は、私どもの組合員とお取引いただき、厚く御礼申し上げます。

組合員は、常日頃、原料米の調達に創意工夫を凝らしながら、皆様の多様なご要求に応えられるよう努めておりますが、米の仕入れ・製造を巡る情勢は様変わりしつつあります。

先ず仕入れ面におきましては、取引の指標となる価格の形成が期待されている(財)全国米穀取引・価格形成センターにおいて、平成20年産はほとんど上場されず、落札実績がありません。こうした中で、主たる仕入れ先である全国農業協同組合連合会の平成20年産米の販売価格は、国際的な原料価格の高騰による肥料、光熱動力価格の上昇等に対応して、平成19年産に比べ1,200円/60kg前後値上がりしております。

また、精米の製造段階でも、電力料金や米袋費の値上がり、さらには安全・安心確保のための設備投資の拡大により、コストは増加しております。

卸売業界としましては、このようなコスト増加を可能な限り経営の合理化により吸収するよう努力して参りましたが、それも限界に近い状況にあります。

一方、平成20年産米につきましては、作況指数102の豊作となりましたが、引き続き消費が堅調に推移し、豊作分の政府買入が行われれば、需給は概ね均衡すると見込まれております。

今後とも、信頼のおける仕入先を厳選しながら、良品の精米製品の販売に組織を挙げて取り組んで参る所存でありますので、お取引価格をご検討いただくに際しましては、以上の諸事情にご理解を賜りますようお願い申し上げます次第であります。

以 上